

Zoomセミナー用資料

# 動意づく宇宙経済 ～次世代の国家インフラ網構築へ～

---

2026年6月3日

岡三証券 投資戦略部

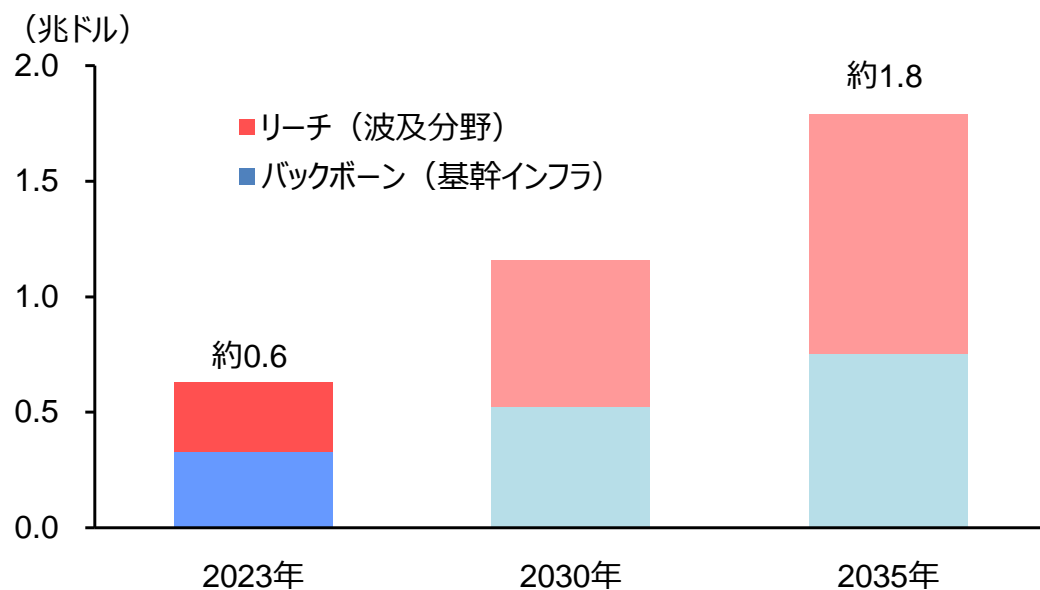
日本株式戦略チーム 入間田 陸

海外株式戦略チーム 岳 佳華

# 宇宙経済は長期的に拡大の見通し

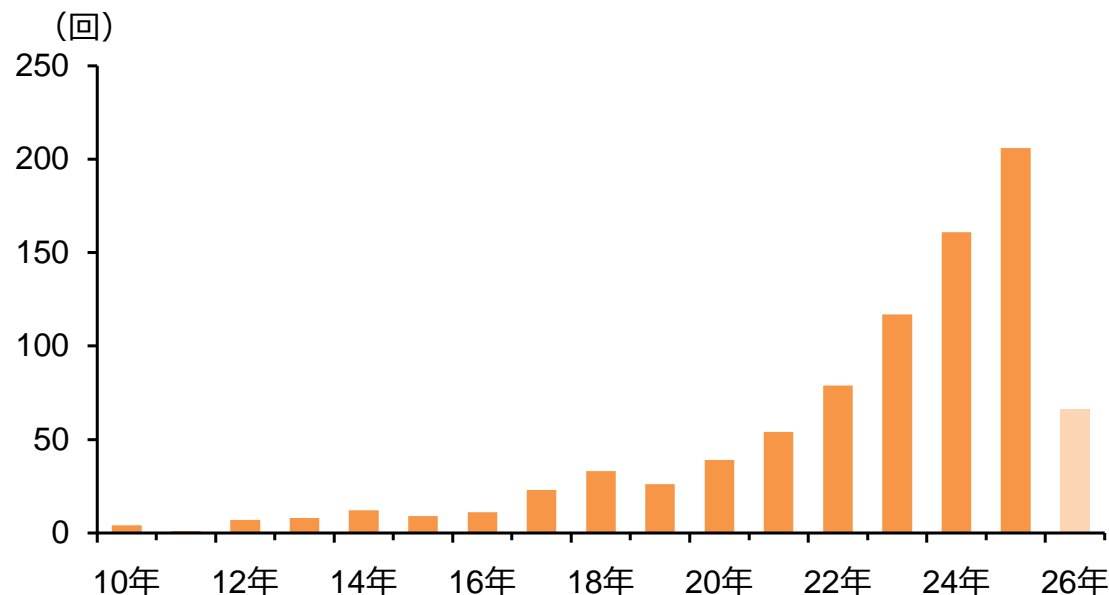
- 宇宙経済の市場規模は、2035年に2023年比で約3倍に
- 打ち上げコストの低下が、宇宙市場の拡大を後押し
- コスト低下に伴う打ち上げ数の増加により、宇宙へのアクセスが一段と容易化し、多様なビジネス機会が拡大

## 世界：宇宙経済の市場規模の推移



Statistaのデータを基に岡三証券作成  
※2024年4月現在、2030年以降は予測値

## 米国：商業用ロケット打ち上げ回数



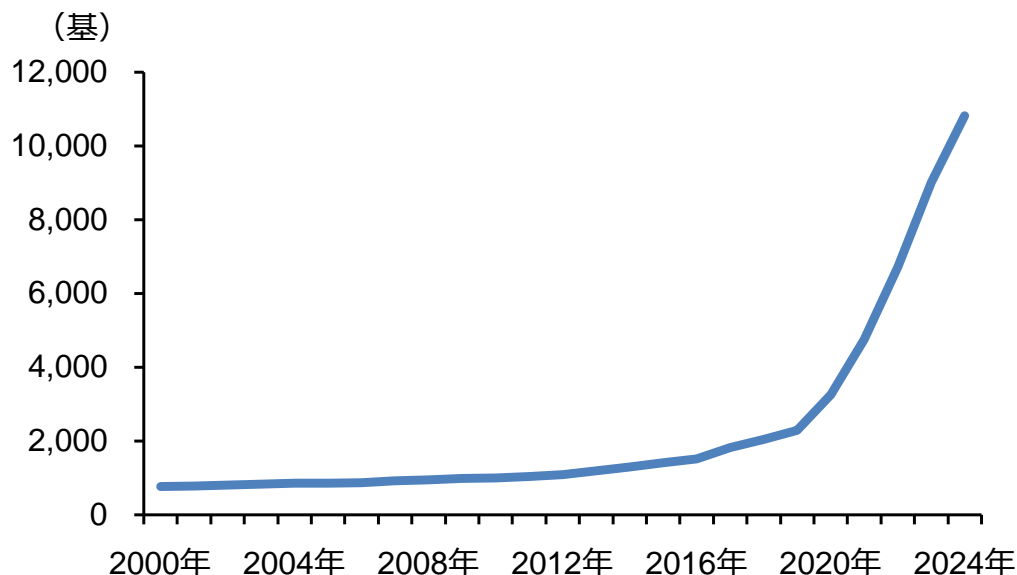
Statistaのデータを基に岡三証券作成 年次  
※2026年は4月27日現在

# 人工衛星を用いた通信・防衛が宇宙経済圏の骨格に

- コスト低下を背景に、「衛星コンステレーション\*」の展開が加速
- 衛星通信や衛星画像を中心に、通信インフラや安全保障を支える基盤として重要性が高まっている
- 宇宙インフラを支える素材・部材分野への波及も期待される

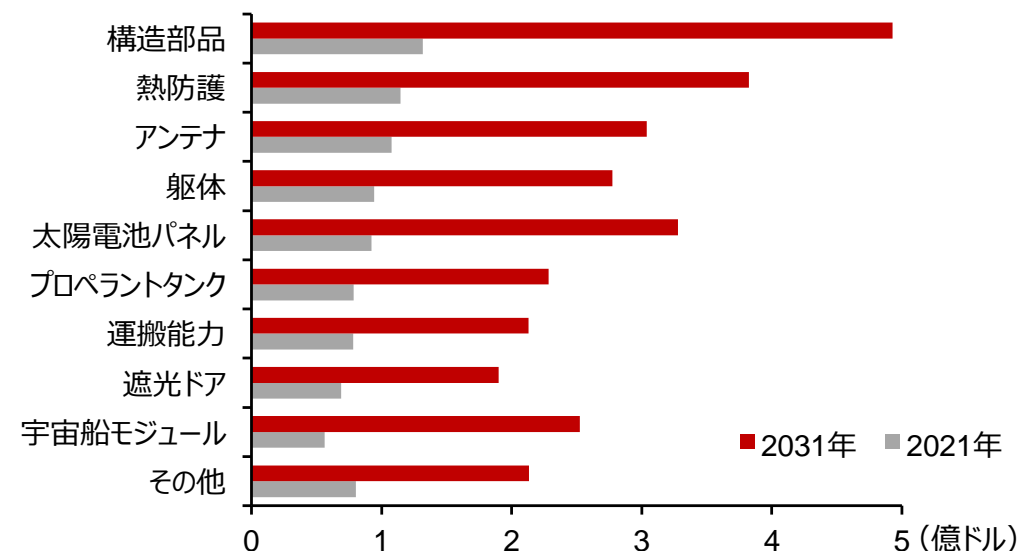
\*中・低軌道に打ち上げた多数の小型人工衛星を連携させ、一体運用する仕組み

世界：地球を周回する小型衛星の数



Statistaのデータを基に岡三証券作成 年次  
※2025年1月現在

世界：先進宇宙用複合材の分野別市場規模予測



Statistaのデータを基に岡三証券作成  
※2022年1月現在

# 世界各国で宇宙産業への取り組みが加速

## 世界：宇宙関連の主な政策・規制の動向

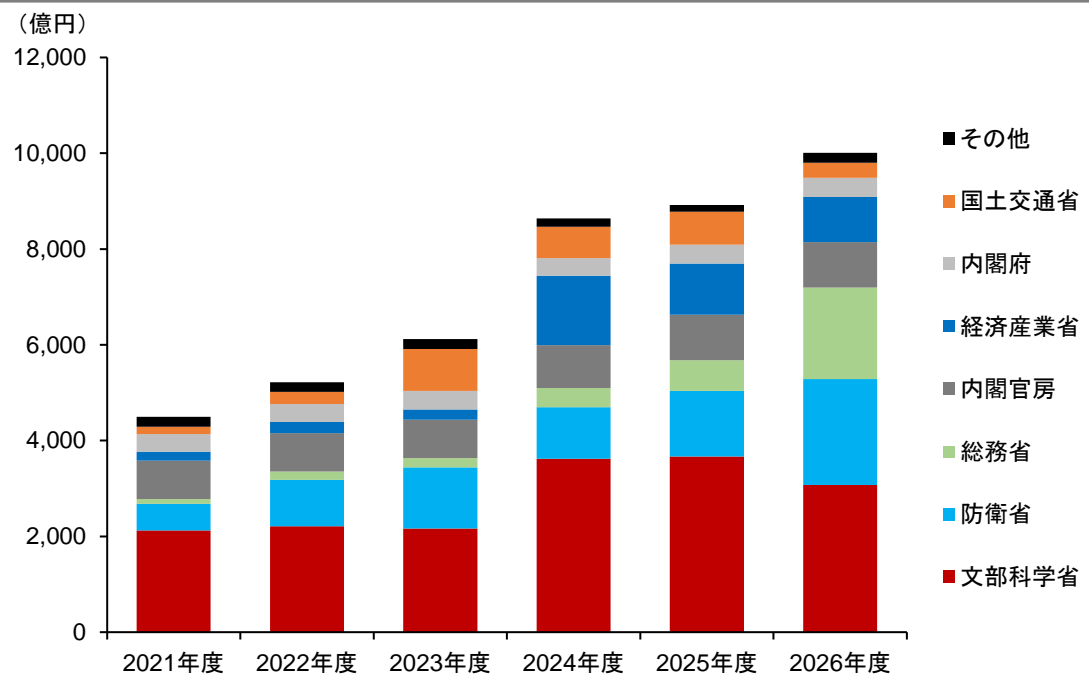
	主な動向と内容
米国	2025年8月 ・民間宇宙産業の規制緩和に関する大統領令に署名 2025年12月 ・包括的な宇宙政策に関する大統領令に署名 2026年5月 ・米連邦通信委員会（FCC）が低軌道衛星の規制を緩和
中国	2026年3月 ・第15次5カ年計画で製造強国や品質強国などと並び、航空宇宙強国を新たに掲げた
日本	2025年11月 ・高市政権が「重点投資対象17分野」を選定。航空・宇宙がそのうちの1つに

出所：各種資料 作成：岡三証券

# 日本では政府主導となった宇宙産業拡大へ

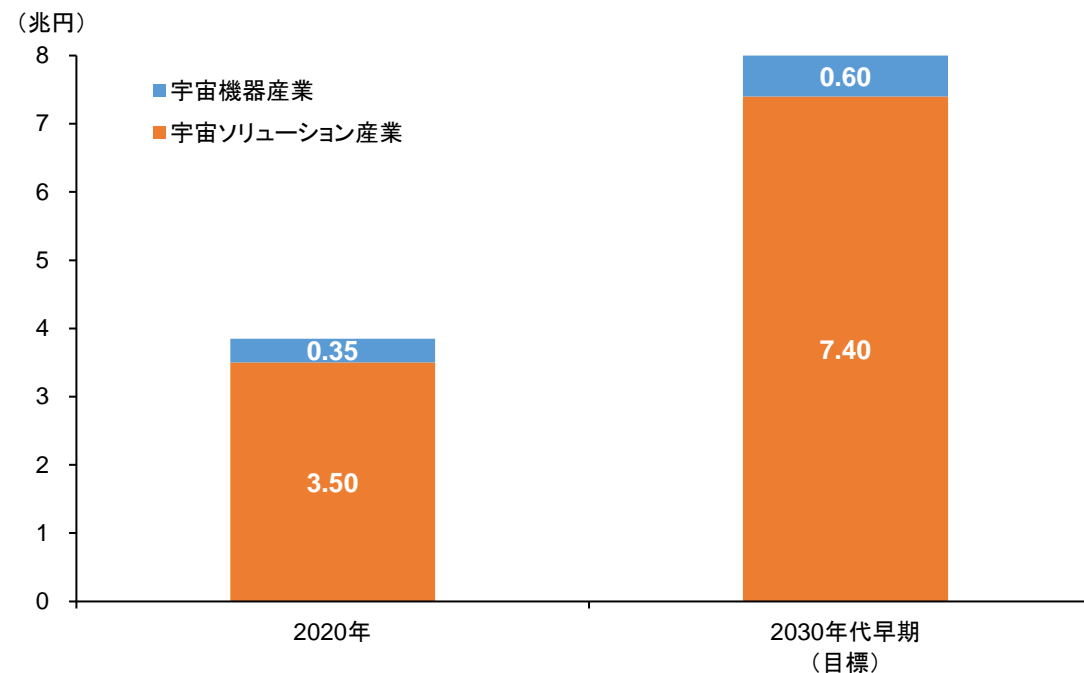
- 2026年度宇宙関連予算は1兆円を突破。宇宙戦略基金関連を除く予算は前年度比35%増
- 防衛省、総務省予算が大幅に増加。防衛・通信分野を軸とした衛星コンステレーションの構築へ
- スケールアップに向け、アジア太平洋地域の友好国などを念頭に、宇宙ソリューション産業の海外展開が重要となろう

日本：宇宙関連予算の推移



出所：内閣府 作成：岡三証券

日本：内閣府が試算する宇宙産業市場規模の推移



出所：内閣府 作成：岡三証券  
 ※2030年代早期目標は宇宙基本計画（2023年6月13日 閣議決定）現在

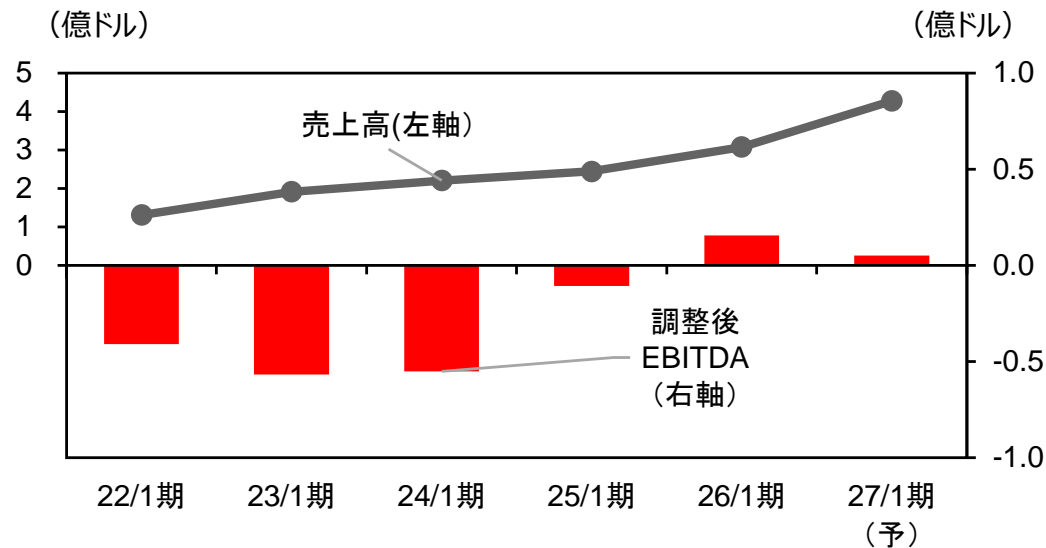
最後に重要な注意事項が記載されていますので、十分にお読みください。

# プラネット・ラブズ (PL)

## 注目ポイント

- 衛星画像と地理空間ソリューションのプロバイダー
- 地政学リスクの高まりを背景に、商用衛星画像サービスの需要が拡大
- 会社側は、宇宙とAIを融合させた唯一無二の企業であると、将来性に自信を示している

## ▼売上高および調整後EBITDAの推移



## ▼株価チャート (週足)



出所: LSEG Workspace、会社資料 作成: 岡三証券  
27/1期は会社計画の中央値 3月19日現在

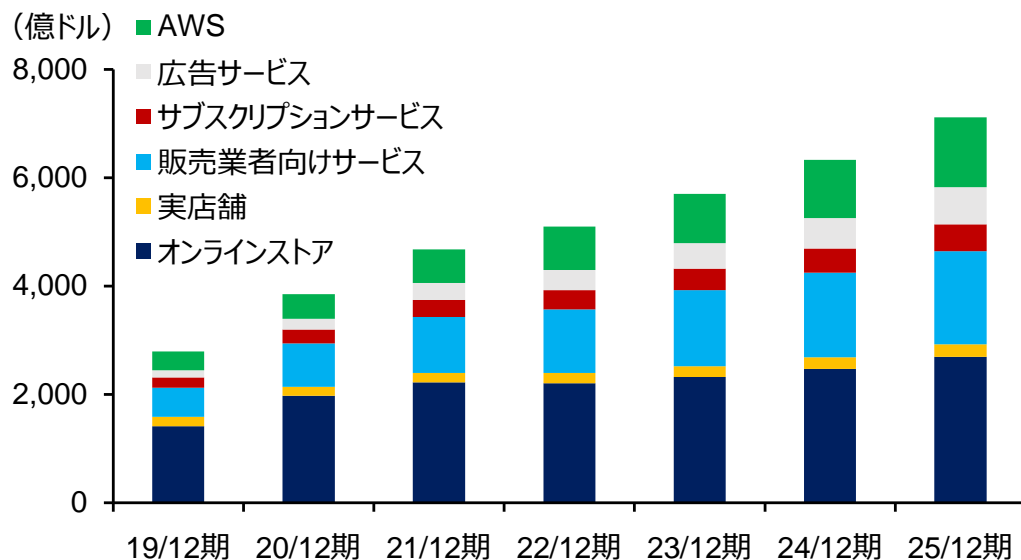
作成: 岡三証券 5月29日現在

# アマゾン・ドット・コム (AMZN)

## 注目ポイント

- AI半導体開発にも注力するEC・クラウド大手
- 衛星通信サービス「アマゾンレオ」の本格的な商用展開が視野に
- 2026年4月にはモバイル衛星通信サービスを手掛ける米グローバルスター社の買収を発表（2027年完了予定）

## ▼主なセグメント別売上高の推移



出所：会社資料 作成：岡三証券

## ▼株価チャート（週足）



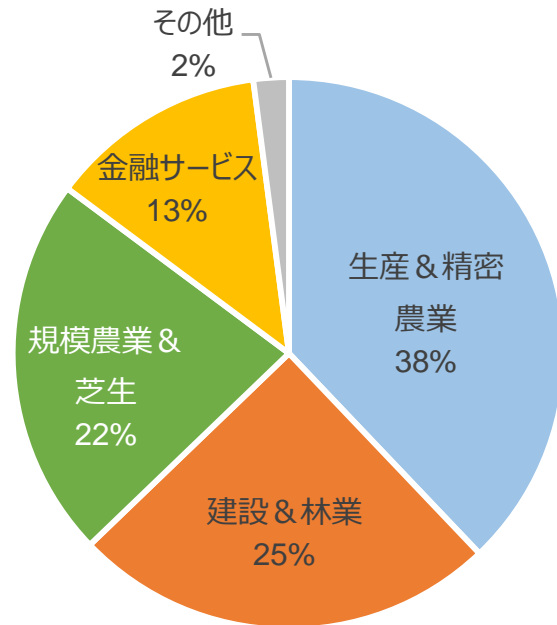
作成：岡三証券 5月29日現在

# ディーア (DE)

## 注目ポイント

- 世界最大級の農業機械メーカー。近年はAIなどを活用した農機の自律化に注力
- 2024年からスペースXのStarlinkと提携し、農地向け衛星通信サービス「JDLink Boost」を展開
- 将来的にはAIエージェントの活用による自律運転や作業最適化など、高付加価値サービスの拡大に期待

## ▼事業別売上高構成比 (25/10期)



出所：会社資料 作成：岡三証券

## ▼株価チャート (週足)



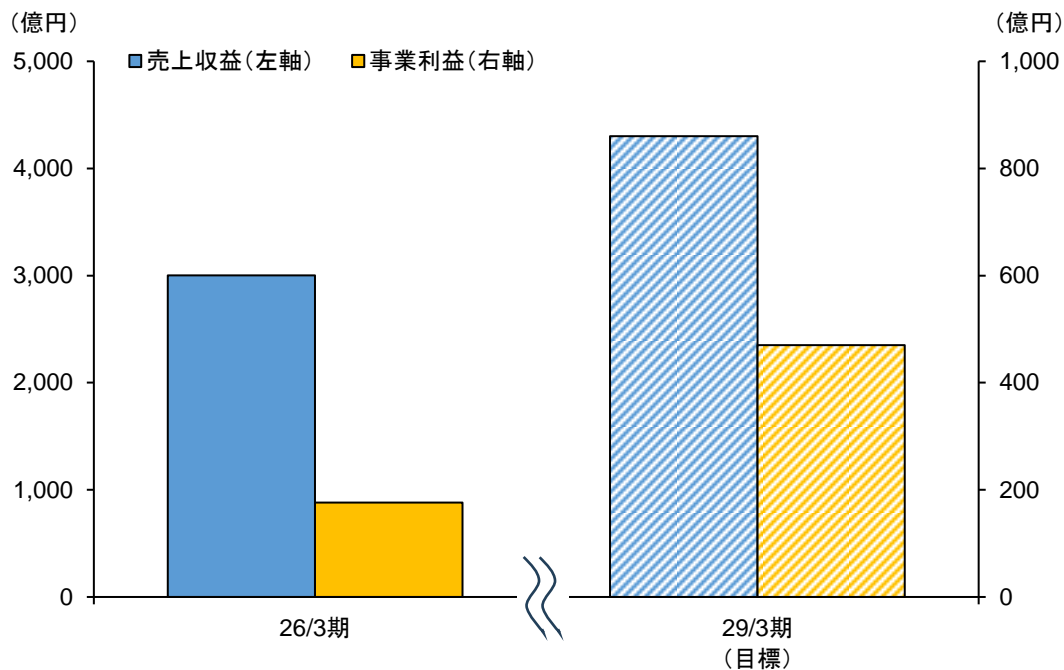
作成：岡三証券 5月29日現在

# 東レ (3402 プライム)

## 注目ポイント

- 「軽くて強い」炭素繊維で世界トップシェア。宇宙飛行向け先端素材の開発・製造における多くの実績を持つ
- 近年は航空、宇宙・防衛などのコア成長分野に注力。宇宙産業向けでは軽量・高機能材料を手掛ける
- 炭素繊維複合材料セグメントの29/3期事業利益は470億円（26/3期は176億円）を目指す

## ▼炭素繊維複合材量セグメントの推移



出所：会社資料 作成：岡三証券  
※29/3期（目標）は会社計画、3月25日現在

## ▼株価チャート（週足）



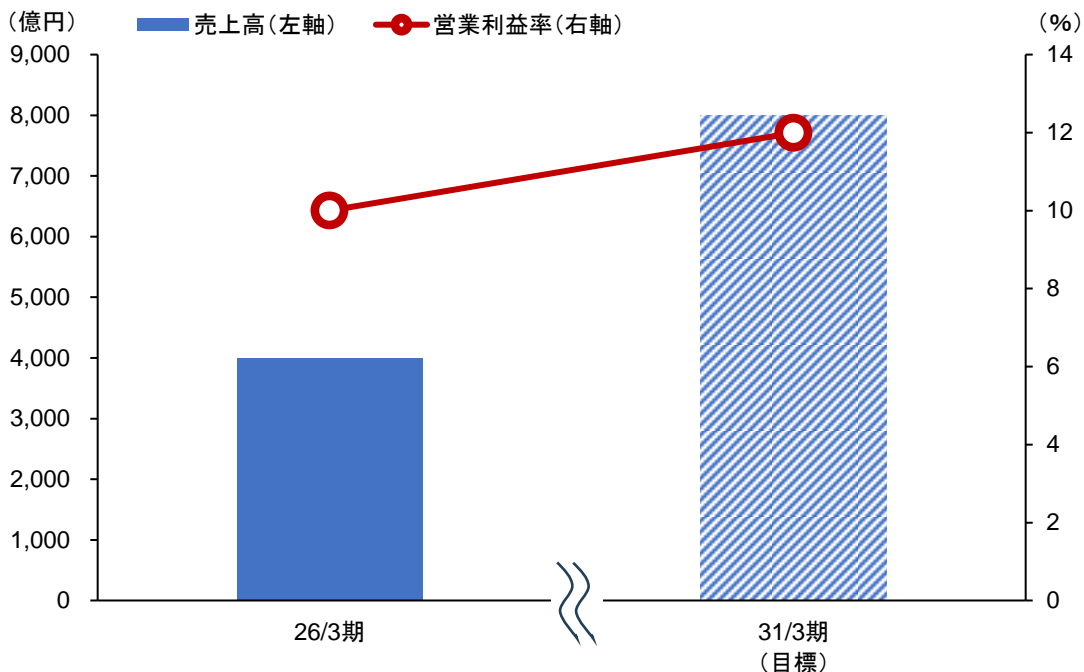
出所：QUICK 作成：岡三証券 5月29日現在

# 三菱電機 (6503 プライム)

## 注目ポイント

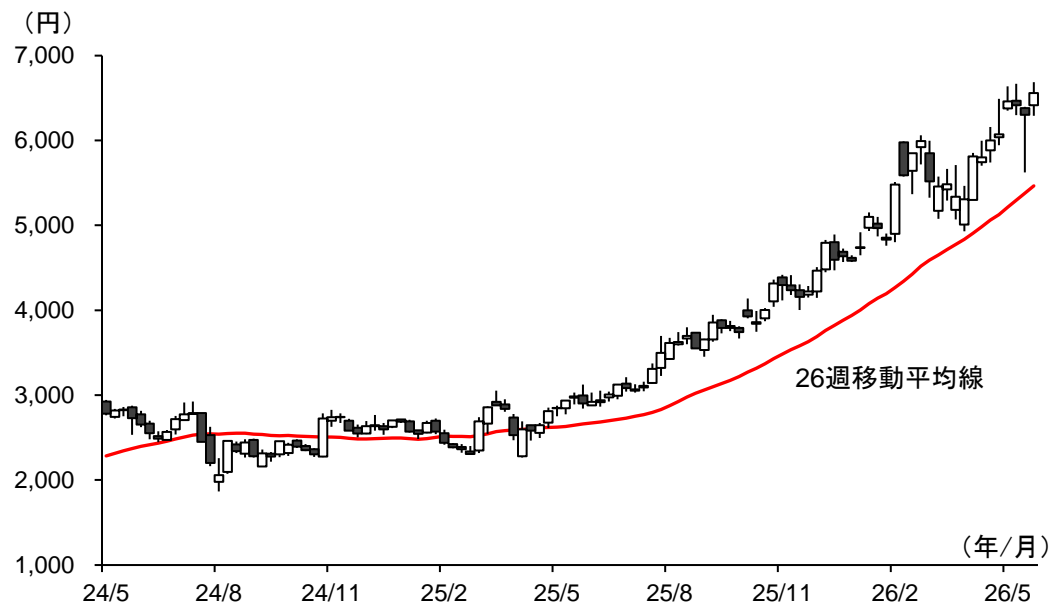
- 総合電機大手。近年は「データセンター」、「エネルギー」、「防衛」、「フィジカルAI」など、材料が豊富
- 宇宙領域では、通信・観測など様々な人工衛星の製造に加え、衛星データを活用したソリューションを展開する
- 31/3期を最終年度とする新中計では防衛・宇宙関連の「ディフェンス&スペース」を含む3領域の事業強化に注力

### ▼ディフェンス&スペース関連事業の推移



出所：会社資料 作成：岡三証券  
※31/3期 (目標) は会社計画、5月29日現在

### ▼株価チャート (週足)



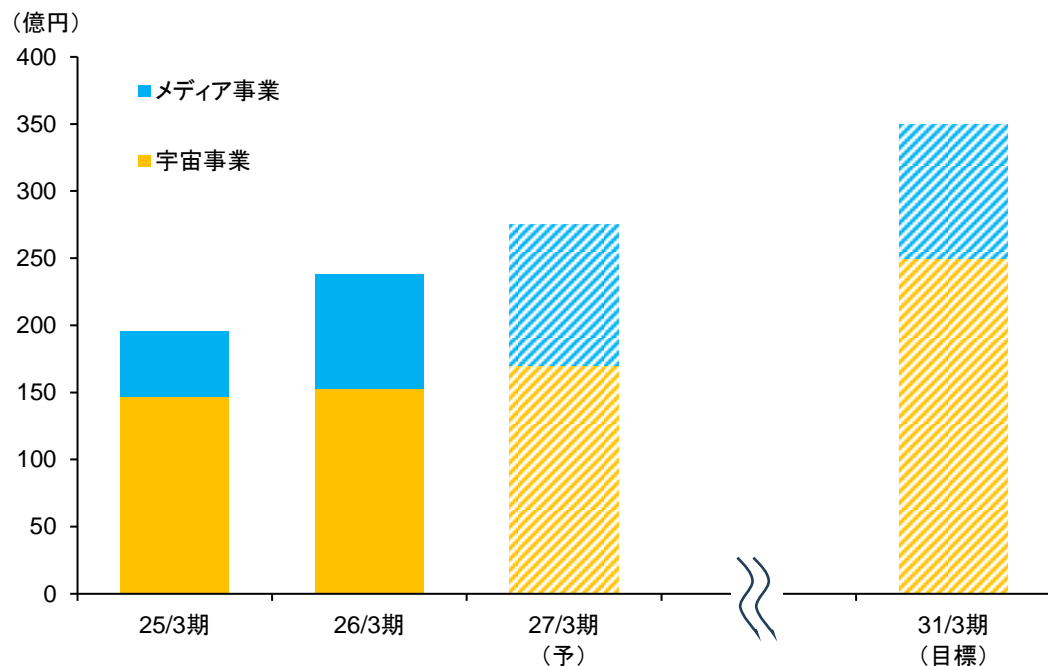
出所：QUICK 作成：岡三証券 5月29日現在

# スカパーJSAT (9412 プライム)

## 注目ポイント

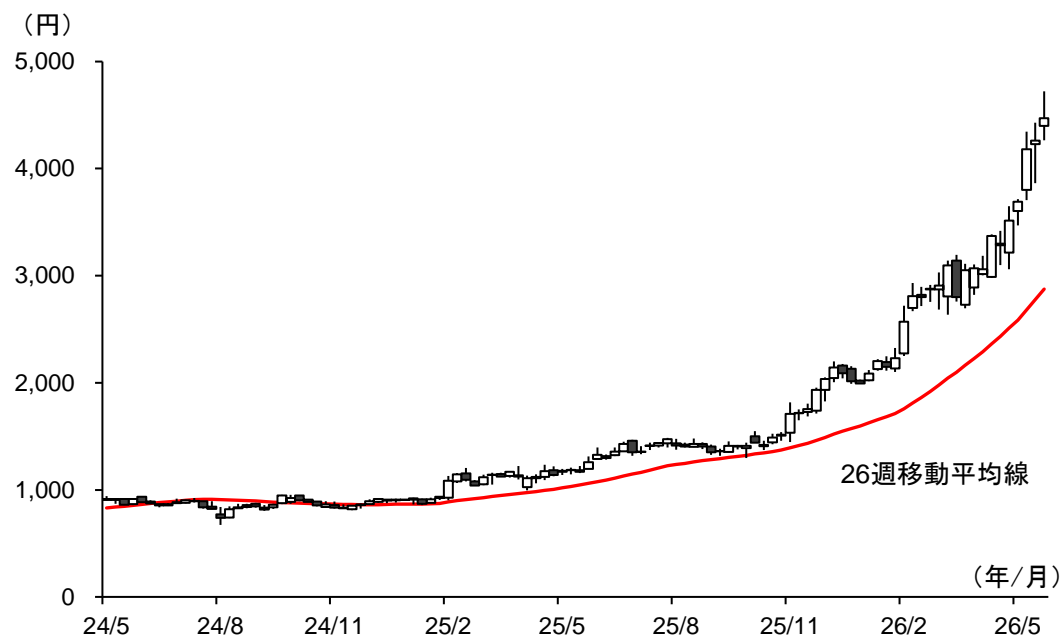
- 日本で唯一&アジアNo.1規模の静止軌道通信衛星インフラを保有。現在17機を保有する
- 27/3期会社計画は、前期比11%営業増益へ。安全保障領域の成長が業績を牽引する見通し
- スペースインテリジェンスの成長に注力。31/3期純利益は350億円以上（26/3期は233億円）を目指す

## ▼セグメント別純利益の推移



出所：会社資料 作成：岡三証券  
※27/3期（予）、31/3期（目標）は会社計画、4月28日現在

## ▼株価チャート（週足）



出所：QUICK 作成：岡三証券 5月29日現在

# 主な人工衛星・ロケット打ち上げ関連銘柄

	コード	名称	主な宇宙関連事業
日本株	6507	シンフォニア	航空機用電源システムや宇宙ロケット用電装品など
	6674	GSユアサ	高性能宇宙用リチウムイオン電池など
	6701	NEC	衛星システム、光通信システム、宇宙ソリューションなど
	7011	三菱重工業	基幹ロケット「H3」の開発やロケットエンジンなど
外国株	APH	アンフェノール A	宇宙の極限状態に耐えるコネクタなど
	FLY	ファイアフライ・エアロスペース	ロケットや宇宙船ソリューションの設計、開発など
	RKLB	ロケット・ラブ	小型ロケット「Electron」による打ち上げサービスなど
	STM	STマイクロエレクトロニクス ADR	無線周波数アンテナチップなど
	VOYG	ボイジャー・テクノロジーズ A	宇宙インフラ、先進宇宙技術、ミッションサービスなど

出所：各種資料 作成：岡三証券  
※すべて岡三証券取り扱い銘柄

## 重要な注意事項

### 免責事項

- ・本レポートは、投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたものであり、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。また、本レポート中の記載内容、数値、図表等は、本レポート作成時点のものであり、事前の連絡なしに変更される場合があります。なお、本レポートに記載されたいかなる内容も、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。
- ・本レポートは、岡三証券が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されたものですが、その情報の正確性、安全性を保証するものではありません。企業が過去の業績を訂正する等により、過去に言及した数値等を修正することがありますが、岡三証券がその責を負うものではありません。
- ・岡三証券及びその関係会社、役職員が、本レポートに記されている有価証券について、自己売買または委託売買取引を行う場合があります。岡三証券の大量保有報告書の提出状況については、岡三証券のホームページ(<https://www.okasan.co.jp/>)をご参照ください。

### 【手数料およびリスクについての重要な注意事項】

- ・金融商品の購入には手数料等その他の費用がかかります。
- ・金融商品にはリスク(元本損失を生じるおそれ)があります。
- ・取引や商品ごとに手数料等及びリスクが異なりますので、詳細は右記QRコードのリンク先「手数料およびリスクについての重要な注意事項」をよくご確認ください。本QRコード先の手数料は閲覧時点の最新内容であり、本レポート作成時点の条件とは異なる場合があります。リスク・手数料等を記載した書面をご請求される場合、当社コンタクトセンター(☎0120-390603)までお問い合わせ下さい。



<https://www.okasan.co.jp/disclaimer.html>

### 【日本以外の地域における本レポートの配布】

・香港: 本レポートは、香港証券先物委員会(SFC)の監督下にある岡三国際(亜洲)有限公司によって、SFCに規定される適格機関投資家(PI)に配信されたものです。本レポートに関するお問い合わせは岡三国際(亜洲)有限公司にお願いします。

・米国: 本レポートの作成者は、米国の証券業界の自主規制機関(FINRA)にリサーチ・アナリストとして登録されておらず、リサーチレポートの作成およびアナリストの独立性に関する米国規制の適用を受けません。第三者による本調査レポートは、1934年証券取引所法規則第15a-6条(改正を含む)に定められる主要米国機関投資家(Major US Institutional Investors)に対してのみ、米国の証券会社であるWedbush Securities Inc.(1934年証券取引所法第15条に基づき登録、以下「Wedbush」といいます。)により、米国内で配布されます。Wedbushによる米国内の本レポート配布に関してはWedbushが全責任を負うものといたします。本レポートは、いずれかの管轄区域内の法令等によりWedbushが本レポートの提供を禁止または制限されている投資家を対象としたものではありません。本レポートを閲覧する前に、Wedbushが関連法令・規制に基づいてお客様に投資関連資料を提供することが許可されている旨をご自身でご確認ください。本レポートを受領・閲覧し、記載されている証券の取引を希望する米国内の投資家は全て、本レポートの発行者ではなく、以下の者と取引を行う必要があります: Wedbush Securities Inc., 1000 Wilshire Blvd, Los Angeles, California 90017, 電話番号+1(646)604-4232。

・その他の地域: 本レポートは参照情報の提供のみを目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。本レポートの受領者は、自身の投資リスクを考慮し、各国の法令、規則及びルール等の適用を受ける可能性があることに注意をする必要があります。地域によっては、本レポートの配布は法律もしくは規則によって禁じられております。本レポートは、配布や発行、使用等を行うことが法律に反したり、岡三証券に何らかの登録やライセンスの取得が要求される国や地域における国民や居住者に対する配布、使用等を目的としたものではありません。

※本レポートは岡三証券が発行するものです。本レポートの著作権は岡三証券に帰属し、その目的いかんを問わず無断で本レポートを複写、複製、配布することを禁じます。

岡三証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第53号

加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

(2026年5月改定)